

京都BCP図上訓練アンケート

平成 30 年 3 月 8 日～12 日に実施しました京都BCP図上訓練につきましては、大変お疲れさまでした。

また、アンケートに御協力いただきありがとうございました。今後の京都BCPの取組に向けての参考とさせていただきます。

1 良かった点・成果と思う点

- 営業店舗・ATM の稼働一覧の様式変更により、記載に統一感が出てきた。
- 事前に様式の記載ルールをご案内頂いており、前回訓練に比べて記載内容に統一感があったと思われる。
- タイムスケジュール通りに訓練を実施、完了することができた。
- 2 回目の訓練参加ということもあり、情報集約・報告を行うために必要となるツールが把握できていたことから、スムーズに訓練が実施できた。実際場面においても慌てることのないよう、日常的な準備を怠らないようにしたい。
- 回を重ねる毎に落ち着いた対応が出来るようになっており、担当者の交代時にもスムーズな対応が出来るよう今後も訓練の継続が必要
- 営業店への被災状況付与は今回初めて行ったが、当金庫内の報告ツールを活用することで正しい報告がなされた。

2 課題と思う点・改善するべきと思う点

- 営業店舗・ATM の稼働一覧の最後に記載している各金融機関のお問い合わせ窓口や窓口営業時間等の記載説明は各ページの頭部に記載した方がわかりやすいのではないかと感じた。
- 「通常営業」の表示について、初日から営業可能な店舗については、基本的にblankとして、前日から状況（休業中や取扱業務・営業時間）が変化して完全復旧した場合に「通常営業」と表示した。他行庫と平仄が合っているか確認をしておく必要があると感じた。
- 復旧見込の業務について情報を記載しているが、予定はあくまで予定であり、ずれ込んだ場合に顧客に迷惑を掛ける場面も想定される。現状の表示にとどめることも検討すべき余地があると感じた。
- 一部業務の再開等復旧見込みについての自行での取りまとめには相当の時間を要すると思われる。どこまで情報を発信するのか、また、一覧にどのように記載するのか考える必要があると感じた。
- 様式の記載内容について 3 行で記載する制限があるが、どうしても 4 行で記載する必要もあり、どこまで記載するのかを考える必要があると感じた。
- 営業店に対して、部分的な参加を求める形（本部への被災状況の報告）になったため、営業店側は、本訓練の全体像を掴みにくい状況であることがわかった。

3 その他気づいた点など

- 実際の地震発生時を想定し、今後の訓練では営業店参加を取り入れるのも良い
- 当該訓練に絡めて、当庫の危機管理本部立ち上げの訓練等を並行して実施することで、より実効性を高めることが可能と考えられ、組織内の訓練方法につき検討していきたい。
- 今回のように3月という年度末要因による多忙時期と重なるため、年間2回の訓練のうち、1回を営業店参加型、2回目を主管部署単独参加型として別種類の訓練に分けるのも良い
- 災害がいつ発生するかわからない中、担当者が所属の勤務部署へ出勤できない場合も想定される。また、本店以外の場所に緊急対策本部を移さなければならないことも考えられ、混乱する中で被害情報の収集及び対応に追われることになる。電話連絡で対応をお願いしなければならない場合もあるかもしれない。